

平成 22 年度

病害虫発生予察特殊報 第 3 号

平成 22 年 11 月 24 日
茨城県病害虫防除所
Tel : 029-227-2445

アワダチソウゲンバイの発生について

害虫名：アワダチソウゲンバイ
学名：*Corythucha marmorata* (Uhler)
発生作物：サツマイモ

1. 発生確認の経過及び県外での状況

- (1)平成 22 年 9 月、ひたちなか市のサツマイモ圃場で、葉にかすり状の脱色斑点が生じ、多数のゲンバイムシ類の寄生が確認された。寄生していたゲンバイムシ類を農業総合センター農業研究所で同定した結果、本県のサツマイモでは未発生のアワダチソウゲンバイであることが確認された。
- (2)本虫は平成 12 年に兵庫県で発生が確認されて以来、31 都府県で各種作物において発生が確認されている。

2. 形態の特徴

成虫は体長が約 3mm で、前翅の周縁部と一部の翅脈上に顕著な棘を列生し、前翅に多数の特徴的な褐色斑がある。幼虫は褐色の紡錘形で多数の棘がある（写真 1）。主に葉裏に生息し、幼虫は集団で生息する場合が多い。本種はサツマイモ以外にも、ヒマワリ、キク、ナス等、多種の作物に寄生・加害する他、セイタカアワダチソウ等のキク科雑草にも寄生することが知られている。

3. 被害の特徴

葉に寄生し吸汁することにより、葉に白いかすり状の白斑症状を生じるとともに黒い粘液状の排泄物が付着することにより、葉がすすけて汚れる（写真 2）。

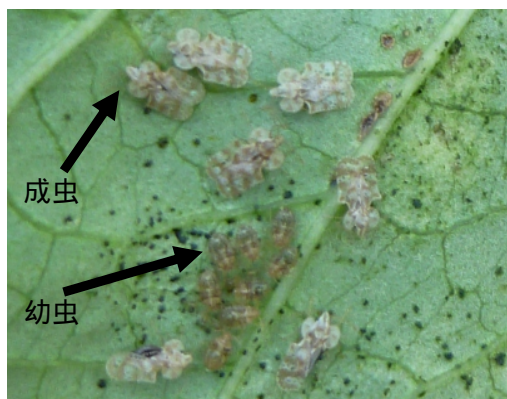


写真 1 アワダチソウゲンバイの成虫と幼虫



写真 2 葉の被害

4. 防除対策

- (1)圃場周辺のセイタカアワダチソウ等のキク科雑草は、発生源となるので密度が高くなる前に除草を徹底する。
- (2)現在のところ、サツマイモでは本種に対して登録のある農薬はない。